

平成25年11月25日

TATEYAMASABO

PRESS RELEASE

本紙投げ込みを以て解禁

記者発表資料
富山県政記者クラブ
業界紙(実業建設新報社
ケーブルテレビNET3

上市町で大規模土砂災害合同防災訓練を 実施します

平成23年5月の土砂災害防止法の一部改正を踏まえて
河道閉塞が発生した場合の対応について

上市町、富山県、国等関係機関が役割分担や問題点を把握し、改善を図り、各機関の災害情報の共有や連携強化につなげることを目的とします。

日時：平成25年11月27日(水) 10時00分～12時00分

場所：上市町総合体育館 小アリーナ (丸山総合公園内)
富山県中新川郡上市町 堤谷11-5

参加者：上市町、富山県、北陸地方整備局、立山砂防事務所
TJSSE(立山神通砂防スペシャリエンジニア)

※当日の天候等により緊急的に中止する場合がありますので、
取材予定を11月26日(火)12:00までに連絡をお願いします。
中止の場合は、当日8時30分までにお知らせ致します。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所
副所長(技術) 帆苅 晃也
電話 076-482-1111 (代表)
FAX 076-482-1101

立山砂防事務所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂61番地
<http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/index.html>

QRコードはこちら 



国土交通省北陸地方整備局

平成25年度土砂災害合同防災訓練

～上市町における危機管理対応訓練～

1. 訓練日時

◆日時:平成25年11月27日 10:00～12:00

3. 訓練会場

◆上市町総合体育館 小アリーナ

2. 参加機関リスト

◆上市町

- ・総務課
- ・建設課
- ・産業課
- ・上市消防署

◆富山県

- ・知事政策局 防災・危機管理課
- ・土木部 砂防課
- ・富山土木センター立山土木事務所

◆国

- ・北陸地方整備局
- ・立山砂防事務所

◆ボランティア

- ・TJSSE(立山神通砂防スペシャルエンジニア)

丸山総合公園内

富山県中新川郡上市町堤谷11-5

Tel:076-472-5300 fax:076-472-3832
 ■アクセス:・立山インターより車で10分



訓練会場地図

4. スケジュール

訓練当日の時間割(予定)

時間	想定時間	内容
9:30～9:55	25分	集合・受付
9:55～10:00	5分	準備(備品・服装・PC等の確認)
10:00	1分	開会
10:01～10:05	4分	開会挨拶
10:05～10:15	10分	訓練の進め方の確認
10:15～11:35	1時間20分	学習型訓練(ヘリ実演、一部RP形式含む)
11:35～11:50	15分	反省会(参加者による振り返り、意見交換)
11:50～11:55	5分	講評
11:55～11:59	4分	講評・閉会挨拶
12:00	1分	閉会



天然ダムのイメージ写真

(出典:国土交通省)

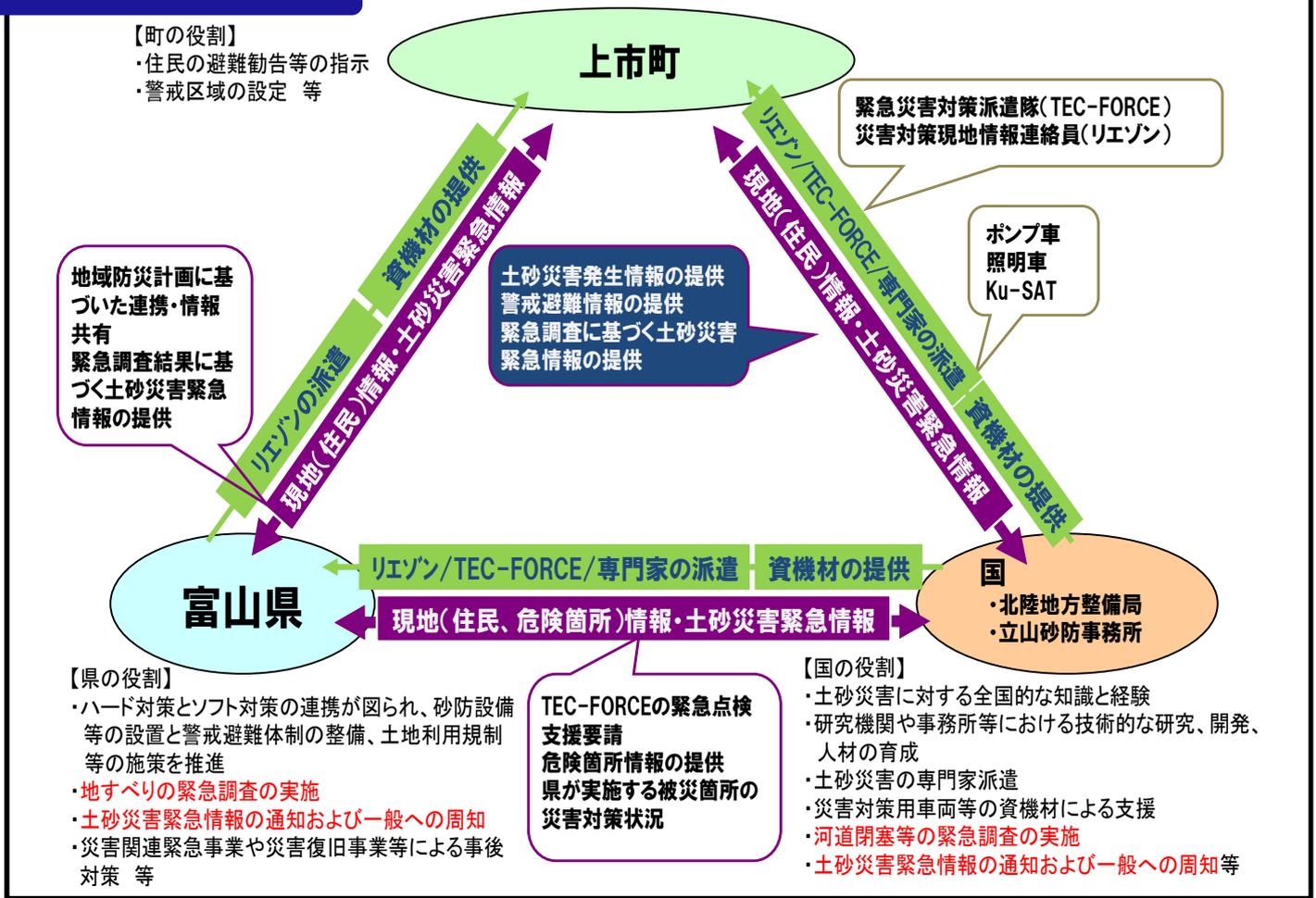
5. 訓練の目的

- 1)平成23年5月の土砂災害防止法の一部改正等を踏まえ、**河道閉塞(天然ダム)対応**について、関係機関の方々が、各々、「何をすべきか」を学ぶこと。
- 2)関係機関同士が各組織の**役割分担**を把握するとともに、現在の**問題点**を把握し、**改善**につなげること。あわせて、各組織間**の災害情報の共有や連携の強化**につなげること。

大規模土砂災害対応に関する主要訓練項目

訓練項目		北陸地整	立山砂防	富山県	上市町
1	【情報収集・伝達、関係機関との情報共有】 災害対策計画等に基づく情報の伝達・共有の対応	●	●	●	●
2	【災害対策本部、支部の適切な運営】 災害関連情報の内部周知	●	●	●	●
3	【土砂災害警戒情報に関する対応】 地震発生に伴う基準の引き下げ 土砂災害警戒情報発令 → 発令後の対応	—	●	●	●
4	【天然ダムに対する緊急調査、応急対策等の実施】 天然ダムの緊急調査、土砂災害緊急情報の通知・周知対応、	●	●	●	—
5	【住民避難対応】: 避難勧告・指示のタイミング、範囲	—	—	—	●
6	【広報対応】: 住民・マスコミへの状況説明	●	●	●	●
7	【ヘリ対応】 天然ダムの形成確認調査(ヘリテレ映像中継、河道閉塞の状況報告)	●	●	—	—

6. 災害時の連携イメージ

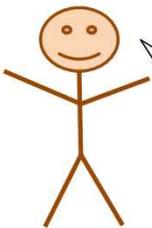


7. 学習型訓練とは

「進行者」と「訓練参加者」にわかれ、「進行者」が必要に応じて状況付与(説明)を行った上で、その後の対応等について質問し、これに「訓練参加者」が回答する形式で訓練を進行します。

進行者

訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部もしくは災害対策支部と見立て、それぞれに対し質問する。



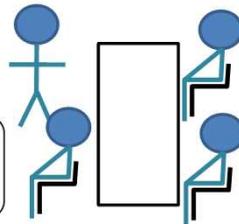
大規模な崩壊が発生し、〇〇のような状態になっているとの第一報に対し、どのような行動をとりますか？



回答者を特定して当てることはしない。あくまでも訓練参加組織に対して質問し、組織として回答してもらう。

訓練参加者

質問内容に応じて訓練参加組織内での回答者を決めて、発表する。



私どもの組織では、〇〇が第一と考え△△を行います。

回答者は与えられた設問に対してその場で考え、すぐに回答してもらう(相談する等の時間的な余裕はない)。



訓練風景(事例)

学習型訓練の特徴

1. 訓練シナリオ(訓練の進行状況)の理解	進行役がその都度状況説明を行うため、 全員が同じ状況を認識、共有、理解 できる
2. 他機関の災害対応の理解	各機関の回答を順番に聞くため、 他機関がどのような対応 を行うか理解できる
3. 時間軸	進行役が状況をその都度説明し、時間軸にとらわれず、 重要な場面等を切り出して訓練 を実施できる。
4. 見学者の理解	参加者と同様に状況説明や回答を聞いているため 参加者と同程度の理解 ができる。途中から見学してもある程度理解できる。